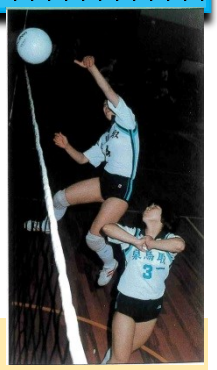
炬火を掲げていざ謳う　No.76

我らの泉鳥取

2024年5月13日（月）
編集　泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会
大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10
https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html



部活動列伝 女子バレーボール部

―　府立高校でトップクラス　―

前回の器械体操部に続いて、今回は女子バレーボール部について特集をしてみましょう。開校当時バレーボール部は男女別の部活動でした。「バレーといえばイズトリ、イズトリといえばバレー」を言われるほど、男女ともに盛んで公立高校としては、大いに名を挙げたものです。

その後男子が退潮し、部活動としては統合されたり、女子のみになった時代があったり、男子がビーチバレー中心に復活したりもしましたが、平成30年（2018）年を最後に活動を休止しました。

女子バレーボール部

開校2年目で部外優勝、それ以後春と秋に連続優勝して、昭和54(1979)年からⅠ部リーグに昇格、その後昭和58(1983)年までⅠ部にありました。この間インターハイ予選や府立高校大会の常連となり、第9学区では圧倒的な成績を残しました。平成5(1993)年に初代顧問の安西仁教諭が転出、その後も多くの生徒が活動してきましたが次第に退潮、平成16(2004)年に部員0となりました。その後断続的に復活と休部を繰り返し、平成30(2018)年、伯太高校との合同チーム出場を最後に活動を休止しました。写真は7期生の卒業アルバムです。

初代女子バレー部顧問　安西仁先生

女子バレー部の初代顧問で、大阪府ベスト4入りを果たした安西仁先生は、現在もお元気にされています。ご本人が書かれた20周年記念誌の中身を再掲します。

生徒が自分の卒業した学校を誇りに思えるようなそんな学校にしたい、将来自分が親となった時、息子や娘に熱い思いで高校時代の青春を語れる親になってほしい、という思いで、必死にバレーボールを指導しました。あの当時の事なので、勝利至上主義で厳しい指導の連続で、中に退部を申し出る生徒もいましたが、そんな時は練習を休んで全員で話し合いをさせ、部員が納得するまで退部はさせませんでした。一人一人は弱いけれど、みんなが同じ気持ちになれば自分たちの想像以上の力が出ることを体験させたかったのです。そんな中でもバレーだけやってたらあかん、バレー以外でも自分を磨かんと、と生活面や学習面でも厳しく指導しました。当時の生徒は本当によく頑張ってくれました。

2018年の安西先生

新設の学校で、生徒も教員も、もがきながら学校づくりをしていた、そんな時代の息吹と思いが詰まったコメントです。

https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html　からpdf版をダウンロードできます。